

令和6年度第3回芽室町総合計画審議会 議事録

令和6年9月4日（水）18:30～19:33

芽室町役場 2階会議室7・8

■出席委員（10名）

貫田会長、廣江副会長、太田副会長、岩野委員、江口委員、岡田委員、小池委員、白銀委員、鈴木委員、花岡委員

■欠席委員（5名）

黒田委員、竹澤委員、小林（義）委員、棚瀬委員、林委員

■事務局

有澤政策推進課長、大石政策調整係長、佐藤主任

■説明員

高橋水道課長、次田水道課長補佐兼下水道工務係長、玉村水道工務係長、松久芽室消防署長、佐々木総務課長、剣持総務課長補佐兼行政経営係長、松田住民税務課長、佐藤都市経営課長補佐兼都市経営係長、山田都市経営係主査、西田魅力創造課長、日下政策推進課参事、我妻農林課長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和6年度第3回総合計画審議会を開会します。会長より挨拶をお願いします。

会長

前回の審議会において、委員の皆さまから会議の進め方等ご意見をいただいた。調査事項に入る前に、事務局より会議の進め方について提案を行う。本日もよろしく願います。

有澤政策推進課長

前回の審議会では会議の進め方等の意見をいただいたことから、この後担当係長から説明する。審議会では専門部会の評価を参考に、庁内評価が妥当かどうか最終決定いただく場である。今年度の施策評価は34施策を3日程で審議いただいております。1施策10分を目安として進行している。皆さまの貴重なお時間をいただいて開催している会議であるため、会議予定時間内にて多くの議論・意見をいただけるようご協力いただきたい。

大石政策調整係長

別紙に沿って、行政評価・審議会の役割・会議の進行事務局案について説明。

会長

ただいまの説明、会議進行の事務局案に意見はあるか。

(意見なし)

それでは事務局案のとおり進めさせていただく。

続いて議案、3調査事項に入る。

①上下水道の整備

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

上下水道の整備について進ちよく状況を伺いたい。

高橋水道課長

上水道の整備状況は西地区で無水源の地区となっている。下水道は市街地では99%整備されており、農村部では上美生は集落排水処理場があり、その他の地区は浄化槽を整備している。

委員

成果指標②(給水人口)が計画策定時と比較して2023年度実績は減少している理由を伺いたい。

高橋水道課長

大きな理由としては人口減少により給水人口も減少している。

委員

石綿管の更新について進ちよくはどうか。

高橋水道課長

令和5年度で更新は完了した。

委員

有収率は把握しているか。

高橋水道課長

94.6%である。

会長

評価に移る。庁内評価と同様にC評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

②消防・救急の充実

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

この施策について、評価意見はあるか。

委員

C評価。成果指標②（火災出動件数）は少なければ少ないほどよいという考えか。

松久芽室消防署長

火災出動件数は少ない方が良いが、成果指標を設定する際に目標は0を目指すべきではないかという意見もあった。しかし、どうしても避けられない状況もあることから、現実的な数値として10件以下という目標設定にした。

委員

C評価。ただ、今後の取組に対する意見「消防車両の展示や消防体験等の内容で子ども向けにイベントを開催してはどうか」について、現状色々なイベントで子ども向けに実施していると思うが、どういう経緯でこの意見が出たのか。

松久芽室消防署長

消防団員が定員を割っている現状から、団員確保について将来を見据えて子どもが消防団と関わる機会があればという意見である。

委員

C評価。国道沿いに住んでいるが、工業団地方面への出動が多い印象がある。工業団地に注意喚起すれば効果的なのではないか。

松久芽室消防署長

工業団地において火災報知器の誤作動が何件か続いており、工業団地の火災が多いわけではない。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

③親切・便利な行政サービスの推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

この施策について、評価意見はあるか。

委員

C評価。成果指標も目標値を超えている。

委員

C評価。窓口でわからないことを聞いても丁寧に対応してくれている。また、この審議会も委員のために、業後に対応いただいている。

佐々木総務課長

前進したという評価をいただき、ありがたい。満足することなく引き続き親切・丁寧な対応をしていきたい。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

④住民自治の実現と地域の活力の維持

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

この施策について、評価意見はあるか。

委員

C評価。地域の活動はコロナ明けもあり活発だと思う。町内会活動に関してD評価という意見もあるが、コロナで活動できていない中でもオンラインで役員会を行ったり工夫して活動していたと思う。

委員

C評価。昨年、「彫刻をみる会」に参加させていただいた。今年は彫刻清掃作業等を町民活動支援センターがサポートして実施していたため、前進したて良いのではないか。

委員

D評価。住民自治の実現は町内会活動が重要である。今年は町長も立ち合いの中、町内会役員における座談会を行っている。しかし、町内会加入率は51.4%と全道市町村をみても下から4番目。前進したとは言えない状況である。

会長

評価に移る。C評価、D評価と意見が割れているが、町内会加入率が上がってきていない状況を踏まえ、庁内評価同様にD評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

⑤効果的効率的な行政運営

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

この施策について、評価意見はあるか。

委員

スピーディーに変わっていく時代の中で、住民をどう効率的に動かしていくかが重要である。職員の努力を評価してC評価。

委員

コミュニティセンターが町内会活動等の拠点となっていくと良い。また、専門部会の意見「公共施設管理について、コミセンの活用は運用や体制づくりを住民と一緒に進めてほしい。」について、どのようなやり取りがあったか伺いたい。

有澤政策推進課長

専門部会から、単純にハードを作るということではなく、そこに人が集い、ハードを熟成していくことを踏まえて町民と一緒に進めてほしいという旨の意見があった。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑥健全な財政運営

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

成果指標が8月判明となっているが、速報値として成果指標①経常収支比率89.7%、成果指標②実質公債費比率8.1%、将来負担比率82.6%である。

会長

この施策について、評価意見はあるか。

委員

予算に応じて建物の建設等実施しているが、国からの交付金など厳しい状況であると思う。庁内評価同様にD評価で良いと思う。

会長

評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

⑦担い手育成と農業の応援団づくり

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び理由について説明。

会長

この施策について、意見はあるか。

委員

農業小学校に娘が参加したが、内容が濃いと思う。引き続き進めていただきたい。

委員

新規就農者8名のうち、後継者就農の内訳を伺いたい。

我妻農林課長

8名全員が後継者就農である。最後に新規就農したのは平成29年度。

委員

基本的には後継者就農を目指していくのか。

我妻農林課長

既存の形態を維持していくために家族の後継者就農は大事であるが、町としても将来的にこのまま維持できるか懸念はある。第三者の新規就農に目を向けて進めていきたい。

委員

担当課評価のD評価は妥当。成果指標②（認定農業者等の担い手への農地集積率）について、個人的には100%である必要はない。色々な考えがあって農業の活力も上がっていくものだと思う。成果指標は高い水準で維持していると言える。

委員

「農業の応援団づくり」とはどのようなことを考えているのか伺いたい。

我妻農林課長

小学生に対する農業小学校や授業のカリキュラムの食農教育などを通して、芽室の子どもたちにこの町の基幹産業である農業を知ってもらおう。まずは芽室の子どもたちに農業の応援団になってほしいという思いがある。また、芽室町産の野菜を町外の方にも食べていただき、町外からも芽室町を応援していただきたいという考えである。

会長

評価に移る。委員からも意見があったようにD評価としてよろしいか。

（異議なし）

評価：D

⑧農業生産性の向上と経営基盤支援

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

この施策について、評価意見はあるか。

委員

成果指標①（農業算出額）に目が行くが、経費高の状況。経費がこれだけかかるということも踏まえて成果指標を設定してほしい。農業産出額がわかりやすいと思うが、目に見えない部分もある。農業産出額363億円がどうしてこの結果になったか原因は特定できないが、役場からのDXなど支援もいただいている。引き続きお互いに情報交換しながら進めていきたい。

委員

専門部会意見において、「3. 施策の達成状況で「成果は変わらなかった」としているため、Cが妥当である」とあるが、成果は変わらなかったのであれば、評価はD評価なのではないか。

事務局

専門部会ではB評価の意見に続いてこの意見が出た。B評価に対して、維持したという（D評価）意見から、その中間の評価としてC評価とする旨の意見である。

委員

町営牧場にてドローンを活用された報道があった。デジタルの導入は人手不足も対応できることと思う。C評価で良いのではないか。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

（異議なし）

評価：C

⑨農地・土地改良施設等の整備・充実

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

この施策について、評価意見はあるか。

委員

土地改良事業は国や道の補助事業が該当になることで事業実施が可能となる。また、併せて地権者の手上げもあってから町が着手できる。時期のズレはあっても地権者は希望通り進んでいると思う。C評価で良いのではないか。

会長

他に意見がないため評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑩地域林業の推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価及び意見について説明。

会長

町内の森林について伐採と植林をどのように進めているのか。

我妻農林課長

町内の森林は個人所有から町所有など多種多様であるが、伐採と植林は森林管理計画に基づき進めている。ゼロカーボンの取組の中で二酸化炭素吸収率の大きい森林を維持、増やしていくという考えで進めている。

委員

過去に子どもと植林の取組があったと思うが、実施予定はあるのか。

我妻農林課長

過去には植樹、育樹などの取組を実施していたが、手を加える場所がない状況。今後も場所がないと実施は難しい。

委員

子どもの頃から森林に親しむことが大事だと思う。子どものときに自分が植えたという経験が、芽室の木は自分と同じように年齢を重ねていることを実感し、郷土愛醸成に繋がるのではないかと思う。

我妻農林課長

子どもが森林と触れ合う事業を行っていきたい。

会長

評価に移る。庁内評価同様にD評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：D

■ 3 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

次回第4回審議会は9月11日水曜日。会場と時間は本日と同じく18:30～役場2階会議室7・8。次回の審議会では総合計画に基づく施策評価ではなく、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく戦略施策評価を行っていただく。本日配付した資料を持参いただきたい。

会長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

次回以降も本日の進め方で実施していくこととしたい。

■ 4 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。お疲れ様でした。

(19:33)